

Npop'n

えぬぽっぷん



NPO POP NEWS! 社会貢献活動に関連したポップな話題をお伝えします。

自分らしく生きられる社会を目指して

人は生まれ育つ環境によって、持てる物や得られる機会がそれぞれ違い、それは、その人の人生に大きくかわることもあります。本号では、環境に左右されず、自分らしく生きるためのお手伝いをしている団体をお迎えして11月6日に開催したシンポジウム『自分らしく生きられる社会を目指して』の内容と様子を紹介します。

◆活動事例紹介1

辻 珠美 (つじ たまみ) 氏 : NPO法人Learning for All 経営管理事業部長

Learning for Allは「子どもの貧困に、本質的解決を。」をミッションとしています。日本の子どもの7人に1人、ひとり親世帯に限ると2人に1人が「貧困」状態にあります。経済的貧困を起因とした様々な困難が起こりやすい状態におかれ、人とのつながりや学びの環境、健やかに育まれる環境などを失っている子どもが多くいます。そのような状況を変えるために、目の前にいる子どもに寄り添っていくところから社会の構造を変えていくところまでを目指し、「一人に寄り添う」「仕組みを広げる」「社会を動かす」を3つの柱として活動しています。



辻氏

「一人に寄り添う」では“地域協働型子ども包括支援”に取り組んでいます。具体的には、居場所支援、学習支援、食事支援、保護者支援の活動はもちろん、6~18歳の子どもに対し、早期から成長段階に合わせて切れ目なくサポートするために、地域のあらゆる立場の大人たちのネットワークづくりなどにも力を入れています。また子ども一人ひとりに寄り添い、自己肯定感を高められるような支援を意識しています。

「仕組みをひろげる」では全国的に同様の活動を広げていけるよう、子ども支援者のサポートを行っています。オンライン研修などのサービスの提供や、ノウハウを共有し支え合えるオンラインプラットフォーム“こども支援ナビ”を開設し、支援者同士のネットワークづくりに役立っています。



オンラインプラットフォーム

「社会を動かす」では現場での支援活動や全国の子ども支援団体とのネットワークづくりを通して、普及啓発、人材育成、政策提言に取り組み、制度や仕組みなど社会構造そのものを変えていくための努力をしています。

◆活動事例紹介2

荒井 昭則 (あらい あきのり) 氏 : NPO法人コンフロンティア 代表理事

コンフロンティアは「不条理のない世界の実現~生活と権利が保障され、誰もが自分で未来を決められる社会の実現~」をビジョンとして2018年に設立され、主にアフリカで活動しています。現在、メンバーは平均年齢20代前半の18名で、学生と民間企業に勤める社会人で構成されています。全員が無給のボランティアで、専任のスタッフはいません。学生時代のボランティア経験をきっかけに海外に関わりたい、感じたことや経験を将来に活かし成長したいなど、何かしらの強い思いを持っているメンバーで成り立っています。



荒井氏

ミッションの1つは「紛争・貧困などによって困難な状況にある人々の自立を後押しする」ことで、活動事例として、ウガンダ共和国での水のインフラ作りがあります。農村部では貯水所がないために多くの子どもたちが往復2時間

以上をかけて水を汲みに行かなくてはならず、学校に行けない状況にあります。そこで、12,000 Lの雨水を溜める貯水タンクと浄水フィルターを設置し、トイレも建設しました。また、石鹸工房を設置し、家庭に簡易手洗い装置を配るなど、手洗い支援に注力しています。活動資金は、マンスリーパートナーによる月額寄付や、クラウドファンディングなどの不定期のキャンペーンで成り立っています。



給水タンク

水のインフラ

トイレ

もう1つのミッションは「情報と選択肢を届け、人々の社会貢献を後押しする」ことです。活動を通して、学生や社会人など周りの人々に、国際協力に参加する機会や可能性を与える団体でありたいと思っています。

◆活動事例紹介3

永井 宏平 (ながい こうへい) 氏 : EESa!認定講師、NPO法人日本セクシュアルマイノリティ協会

日本セクシュアルマイノリティ協会は、日本で「すべての性」を初めて掲げたLGBT総合サポートのパイオニアで、2005年に設立され、現在は一般社団法人とNPO法人を運営し、LGBTについての啓発や環境改善を行っています。

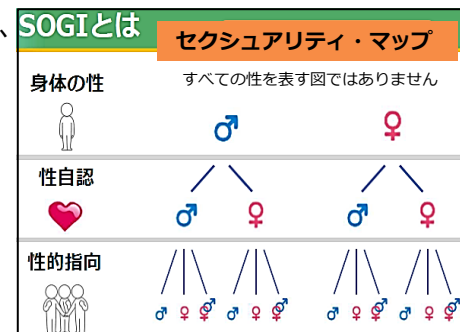
LGBTとは、**L**(レズビアン)、**G**(ゲイ)、**B**(バイセクシュアル)、**T**(トランスジェンダー)の頭文字を併せた言葉で、性的マイノリティの総称として表す場合もあります。LGBTを考えるうえで大切なのがSOGI(**S**exual **O**rientation and **G**ender **I**dentity)で、性的思考(好きになる性別)と性自認(こころの性)を示しています。これはLGBTに限らず全ての人に関わるもので、セクシュアリティ・マップによって表されます。ある企業の調査によると、日本におけるLGBTの割合は8.9%、その家族や友人などを含めると更に多くの人に関わることとなり、見えないマイノリティを理解することはとても大切です。

活動目的は「安心できる居場所づくり」「社会と当事者の懸け橋となる」「アライ(理解者、支援者)を増やす」の3つです。主な活動は、①カウンセリングを学んだメンバーが行う「虹の相談窓口」②同じ年代、温度感で交流できる「ティーンズ交流会」③ボランティア活動を通じたコミュニティ作り④現場の声を届けて正しい知識を持ってもらう「学校・自治体での授業」などです。10月にはLGBTについて知りたい人だけでなく一般の人も楽しめる「EESa!オンライン文化祭」を開催しました。無理に受け入れず、日々変わる時代や日常生活や文化のように新たな発見と知りえた知識によって、誰もが安心できる豊かな社会の実現に向けて、共に活動する仲間を探し続けています。



永井氏

- L** …レズビアン (女性同性愛者)
- G** …ゲイ (男性同性愛者)
- B** …バイセクシュアル (両性愛者)
- T** …トランスジェンダー (生まれた時に割り当てられた性別と心の性別が一致していない人)



セクシュアリティ・マップ

◆パネルディスカッション

Q1: 子どもの貧困と学習支援の結びつきは何でしょうか?

辻氏: 相対的貧困状態に置かれている子どもたちは、個人に合った学習ができなかったり、学習に向き合う機会が喪失されやすい状況です。その理由として経済的困難だったり、家庭の中でのサポートが難しく、学校以外で学ぶ機会が失われていることが課題です。そのため、子どもたちが適切に学ぶ権利が失われています。それは学習の権利の側面だけでなく、将来、進学や就職活動で困難にぶつかった時にも影響を与えてしまうことから子ども時代の学習支援は重要です。

Q2: 今の活動国を選んだ理由は何でしょうか?

荒井氏: ウガンダとタンザニアにした理由は2つあります。1つは現地で連携できるパートナー団体を見つけられたことです。我々は自分達で何かしたいのではなく、できることを積み重ねていくことを重視し、活動する上で現地の良いパートナー団体と出会えたことが大きいです。もう1つの理由は現地の治安の状況から選びました。現地で一緒に活動する上で安心して活動できることを重視しています。

Q3: 企業等に出している認証マークとは何でしょうか?

永井氏: 認証マークは企業用と学校用があります。LGBTの取り組みをしていることを見える化したもので、当事者だけでなく、ご家族や関係者が所属する際、安心して判断できるようにするためです。ただ研修を受けたとしても、すべてを理解しているかという必ずしもそうではありません。特にトイレと更衣室の問題は大きく、小さな企業の場合、多目的トイレを設置することが難しく、駅の多目的トイレを使用している方もいます。

聴かせて
NPO!

※ちょっと気になるNPO団体を紹介します※

《 NPO法人 日本ブラインドサッカー協会 》

“ 視覚障がい者と健常者が当たり前に混ざり合う社会の実現に向けて ”

『視覚障がい者と健常者が混ざり合う社会』へ近づく。そのきっかけが、「目の見えない人も目の見える人も大好きなサッカーと一緒に楽しむこと」であり、それを実現できるのがブラインドサッカー®だ。日本ブラインドサッカー協会はそう信じています。競技力の向上はもちろん、それにとどまらず大人も子どもも対象に様々な活動に取り組んでいる協会の活動についてお話を伺います。

♪当センターで行われる「第150回市民とNPOの交流サロン」にご登壇いただきます♪

開催日時：2022年1月13日(木) 18時45分～20時45分 ※是非ご参加ください。

参加方法：オンライン(詳細は<https://snponet.net>)
語り手：NPO法人 日本ブラインドサッカー協会
参加費：無料

主催・問合せ：新宿NPOネットワーク協議会
後援：新宿区
【電話】03-5206-6527 【Email】hiroba@s-nponet.net

センター利用団体のイベント等の情報

イベント情報は各団体のHP等に掲載されているものを紹介しています。コロナ禍のためイベントが延期や中止になることも考えられますので、詳細については各団体にお問い合わせください。

新宿区ウォーキング協会 第203回例会 「新春深川七福神巡り」約8km

日時：2022年1月4日(火)

受付：8:40 出発：9:00

集合：深川公園

(東京メトロ東西線・都営大江戸線「門前仲町駅」)

解散：牡丹町公園 12:00頃「門前仲町駅」

参加費：一般400円、会員無料

問合せ・申込：新宿区ウォーキング協会

【TEL】090-3217-4109 【FAX】03-3208-3531



まちぼっと ソーシャル・ジャスティス基金 「助成発表フォーラム第10回」

日時：2022年1月7日(金) 13:30～16:00

参加方法：オンライン 参加費：無料 定員：先着50名

内容：「見逃されがちだが大切な問題」をテーマに公募した助成事業の助成を受ける団体からの課題と展望

完全事前登録制 申込締切1月5日(水)

申込：<https://socialjustice.jp/20220107.html>

問合せ：まちぼっと ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)

【Email】info@socialjustice.jp 【HP】<http://socialjustice.jp/>

JUON NETWORK(樹恩ネットワーク) 「農業体験&竹林整備@飯島農園」

日時：2022年1月9日(日) 10:00～15:00頃

場所：千葉県船橋市 飯島農園

集合：9:15北習志野駅バス停、または9:50飯島農園

内容：竹の間伐、竹の伐り方講習

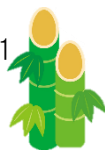
参加費：会員無料 一般500円 定員：20名(会員優先)

問合せ・申込：JUON NETWORK(樹恩ネットワーク)

【電話】03-5307-1102 【FAX】03-5307-1091

【Email】juon-office@univcoop.or.jp

【HP】<http://juon.or.jp/>



新宿NPOネットワーク協議会

「小滝橋ひろば～スマホ・PC相談会～」

日時：2022年1月12日(水)、26日(水) 10:30～12:00

場所：新宿NPO協働推進センター 5F

(新宿区高田馬場4-36-12)

参加費：200円 開催時間内20分程度の個別相談

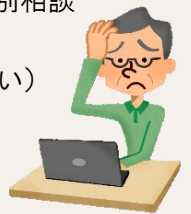
対象：日頃のスマホ・PC操作にお困りの方

定員：各回6名(スマホ・PCをお持ちください)

問合せ・申込：新宿NPOネットワーク協議会

【電話】03-5206-6527

【Email】hiroba@s-nponet.net



新宿区民活動支援サイト“キラミラネット”をご利用ください

新宿区を拠点に行われている地域活動や社会貢献活動、趣味、サークル活動など、身近な地域活動の情報を一堂に集め、発信するWEBサイトです。現在、WEB会員を募集しています。

(登録料は無料です)

URL：<http://shinjuku.genki365.net/>

問合せ：新宿区地域振興部

地域コミュニティ課

【電話】03-5273-3872

【FAX】03-3209-7455



掲載募集 <イベント情報/ボランティア募集など>

◆対象期間：2022年1月25日(火)～2022年2月28日(月)

◆募集締切：2022年1月5日(水)

◆対象団体：当センター登録団体、一般利用団体

◆掲載件数：最大5件(1団体1件まで掲載できます。応募が多い場合は、当センターまたは新宿区内のイベント・登録団体のイベントを優先させていただきます。)

◆申込方法：タイトル、日時、場所、参加費、問合せ先を、新宿NPO協働推進センターまで、FAX又はメールにてご連絡ください。

センターからのお知らせ



講座

【NPOのウェブ担当者になろう！】

～How to WordPress #1・#2～

【日時】1月16日（日）＜#1＞13:30～15:30 ＜#2＞15:30～17:30

【内容】ボランティア団体・NPOの活動には、ウェブの活用が欠かせません。メンバーのコミュニケーション、団体や活動の広報、イベントの運営にどのようにウェブを活用していくのかなど具体的な事例を学べる講座です。スキルを身につけて、活動にウェブを活かしましょう。

＜#1＞◆サーバー選定、ドメイン、SSLについて ◆インストールから記事投稿まで 等

＜#2＞◆セキュリティ、バックアップに役立つプラグイン ◆他サービスとの連携について 等

【講師】千野 雅則氏（NPO法人スキルポート 代表）

【参加方法】当センター 501会議室 及び オンライン 【参加費】2,000円 各回 1,000円（資料代等として）

講座

【PR視点のコミュニケーション講座】

～効果的な広報とは？～

【日時】第1回：1月27日（木）18:45～20:45

第2回：2月 3日（木）18:45～20:45

【内容】「社会貢献がしたい」という熱い想いは、ついついPromotion(広告)に偏りがちです。本講座では、Public Relations(パブリックリレーションズ)の視点にたって基礎的な知識の整理から、実践する際に注意すべきポイントなど団体の活動に合った効率的なPR活動について学びます。

＜第1回＞◆PRについて知る ◆PRの基礎知識 ◆自分たちの情報価値 等

＜第2回＞◆明日から役立つ実践PRテクニック ◆ニュースリリース作成時のポイント ◆メディアの全体像 等

【講師】天野 渉氏（株式会社オルトプラス エヴァンジェリスト）

【参加方法】当センター 501会議室 及び オンライン

【参加費】2,000円 各回 1,000円（資料代等として）※連続受講をオススメします。

- オンライン受講はPeatixよりお申込みください。【URL：<https://kouza202000.peatix.com>】
- 各事業についてのお問い合わせは、下記へご連絡ください。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講座・イベントを延期又は中止する場合がございます。最新情報等につきましては、当センターHPをご参照ください。【URL：<https://snponet.net/>】

情報・お問い合わせ

TEL：03-5386-1315 FAX：03-5386-1318
Email：hiroba@s-nponet.net URL：<https://snponet.net>
Facebook：<https://www.facebook.com/shinjuku.npo.center>

アクセス

- 〈バスでお越しになる場合〉（いずれの停留所からも徒歩で4分）
- ・各線 新宿駅 西口より関東バスで「小滝橋」下車（乗車時間10分前後）西口地下より標柱番号12・14を上った乗場から出るバス（すべて）
 - ・各線 高田馬場駅 早稲田口より都バスで「小滝橋（郵便局前）」下車（乗車時間5分前後）早稲田口を出て目の前、高架下の乗場
- 〈最寄駅から徒歩でお越しになる場合〉
- ・東京メトロ東西線 落合駅、西武新宿線 下落合駅より徒歩12分
 - ・JR山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線 高田馬場駅、JR中央線 東中野駅・大久保駅、都営大江戸線 東中野駅・中井駅より徒歩15分

作成&発行

新宿区立 新宿NPO協働推進センター
指定管理者：一般社団法人 新宿NPOネットワーク協議会
（〒169-0075 新宿区高田馬場4-36-12）
編集：西郷 和将 飯尾 知歩 吉田 定信 三上 太紀子 菊池 直子 國府田 明子



新宿NPO協働推進センターは、社会貢献活動団体のネットワークづくりの拠点施設です！

4 センターでは、社会貢献活動団体への施設の貸出しの他、相談や情報提供、講座等、さまざまな事業を実施しています。